

平成30年度第1回滝沢市上下水道事業経営審議会会議録

I 日 時 平成30年7月12日（木）午後2時30分～午後3時40分

II 場 所 滝沢市役所分庁舎2階 第6会議室

III 出席者 滝沢市上下水道事業経営審議会委員 出席7名（欠席2名）

【滝沢市上下水道事業経営審議会委員（兼 滝沢市水源保護審議会委員）】

山田 一裕 会長、安永 正治 委員、坂井 善隆 委員、田村 武 委員、
昆野 光子 委員、工藤 恒夫 委員、佐藤 定美 委員

【滝沢市】

滝沢市長 柳村 典秀

上下水道部（事務局） 部長 太田 城人

水道総務課 課長 阿部 一彦、総括主査 久保 雪子、小林 純子

水道整備課 課長 松本 昭彦、総括主査 角掛 雄一

下水道課 課長 三浦 信吾

IV 次 第

<委嘱状交付>

盛岡森林管理署署長 長江 恭弘様の退職に伴い、後任の安永 正治様に市長より委嘱状の交付が行われた。

1 開会

2 挨拶

市長挨拶、委員及び事務局の紹介

3 議事

（1）議事録署名人の指名

会長より、議事録署名人に田村 武委員、工藤 恒夫委員が指名された。

（2）会議の公開・非公開

公開とされた。盛岡広域連携ブロック検討会事務部会会員18名の傍聴者入場。

（3）審議事項1 滝沢市水道事業前期経営計画の振り返りについて

（水道資料1、水道資料3、参考資料1、参考資料2）

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

【昆野委員】アンケートの実施について、3,000世帯となっておりますが、全世帯の何%にあたるか。

- 【水道総務課長】全体で 20,000 世帯を少し超えるくらいなので、大体 7 分の 1 くらいになる。大体どのようなアンケートでも 2,000～3,000 世帯くらいの数があれば意見が反映されるといわれており、前回は 3,000 世帯へ送付していることから、今回も同数としたもの。回収率は 50%弱を想定している。
- 【坂井委員】計画の振り返りを見るとほぼ達成できていると個人的には感じているので、これを今後は世帯数や人口など様々な変化を吸い上げた形で活かしていただきたい。
- 【工藤委員】水道法改正により、水道の広域化が推進されようとしているが、これについて滝沢市としては具体的にどのように考えているか。
- 【水道総務課長】今回も広域ブロック検討会のメンバーに参加いただいているが、これまでこの会議で研究してきた結果、まず広域化については、施設整備の形としては一極集中ではなく、それぞれの水源を利用した分散型の施設整備が望ましいという意見となっている。経営については、まだまだ検討に時間を要することから、広域連携については、まずは出来ることから進めていく方針である。ブロック検討会の事務部会、技術部会において活動を進めており、国からも今年度末を目途に市民に方針を公表することとされていることから、本市においても一定の結論をお示ししたいと考えている。
- 【山田会長】広域連携の議論を進めると、それぞれの自治体が抱える水道事業の課題や見直しなど、本来であれば市民の方々と共有すべきいろいろな情報が整理されてくる。それを公開してパブリックコメント等意見をいただきながら広域連携を進めていくというのが流れだと思うので、この審議会でもぜひ積極的に議論していただければと思う。

(4) 審議事項 2 滝沢市水道ビジョンの見直しに係る基本方針について

(水道資料 2、「水道に関するアンケート調査」)

資料の内容について水道総務課長より説明があり、質疑応答が行われた。

- 【坂井委員】財政計画の見直しの中で、今回は平成 31～34 年ということで見直し案がでていますが、当然 10 年後、20 年後の計画も議論させていただけるということでしょうか。
- 【水道総務課長】アセットマネジメントの計画上は 40 年のシミュレーションをしているが、この水道ビジョンによる財政計画、あるいは後期経営計画の財政計画の策定にあたっては、40 年、20 年、10 年の財政計画を見据えながら 4 年間の財政計画を立てていきたいと考えている。そちらについても、次回ご審議いただきたいと考えている。
- 【山田会長】ビジョンの方針については大きく変わるものではないと理解しているが具体的な計画は広域連携との兼ね合いで変わる部分もあると思うので、また次回ご意見等あったらぜひお願いしたい。

4 その他

事務局より、次回の審議会の開催予定について説明があった。

- ・次回は、アンケート調査の結果が出る9～10月頃に開催を予定しており、分析結果をお示ししたい。また、今回ご審議いただいた方針をもとに後期経営計画の骨子案をお示ししたいと考えている。

5 閉会